「ＳＮＳ東京ルール」の改訂について

1　「ＳＮＳ東京ルール」の策定（平成 27 年 11 月）

児童・生徒が、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、ＳＮＳを利用する際のルールを策定

「ＳＮＳ東京ルール」

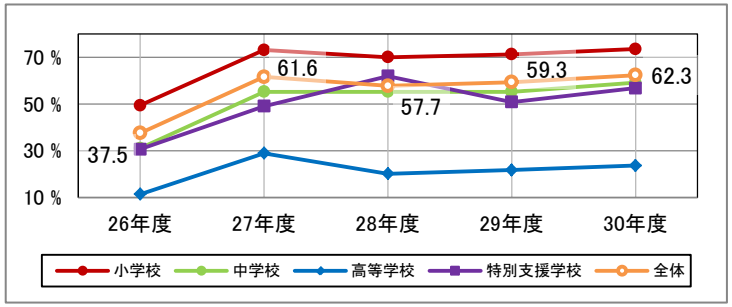
① 一日の利用時間と終了時刻を決めて使おう。
② 自宅でスマホを使わない日をつくろう。
③ 必ずフィルタリングを付けて利用しよう。
④ 自分や他者の個人情報を載せないようにしよう。
⑤ 送信前には、相手の気持ちを考えて読み返そう。

2　「ＳＮＳ東京ルール」に基づく取組

① 「ＳＮＳ学校ルール」及び「ＳＮＳ家庭ルール」を作ることの指導・啓発
② 補助教材「ＳＮＳ東京ノート」の作成・配布・活用の促進
③ 「情報モラル推進校」の指定、成果の共有（スマホミーティング等）
④ 教員の指導力向上のための「情報教育研修（情報モラル）」の実施
⑤ ＬＩＮＥ株式会社との共同研究
⑥ 「親子情報モラル教室」の実施（都内小学校約１５０校）

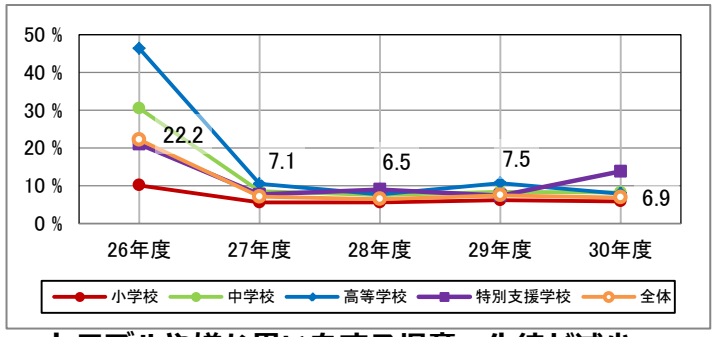
3　「ＳＮＳ東京ルール」策定後の主な成果

（１）家族ルールの作成状況（都教育委員会調査＊）



➡ルールを決めている家庭が増加

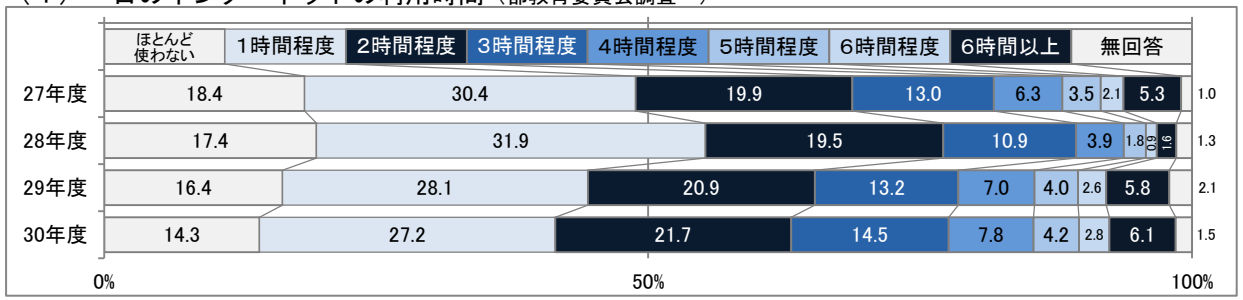
（２）インターネット利用時のトラブルや嫌な思い（都教育委員会調査＊）



➡トラブルや嫌な思いをする児童・生徒が減少

4　策定後の課題

（１）一日のインターネットの利用時間（都教育委員会調査＊）



➡２時間程度以上が増加しており、長時間化傾向

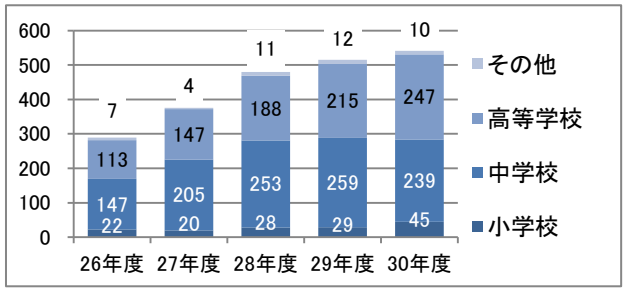
（２）校種別アプリの使用状況（都教育委員会調査＊）

	YouTube	LINE	Twitter	Instagram
小学校	81.4	37.0	6.0	7.7
中学校	90.5	80.7	32.5	27.1
高等学校	91.6	97.5	72.4	61.2
特別支援学校	92.1	59.9	22.6	13.2
全体	85.4	59.3	22.7	20.6

平成 30 年度調査より　　単位　%

➡情報を発信するアプリが普及

（３）自画撮り被害に遭った児童・生徒数の推移
（警察庁「平成 30 年における子供の性被害の状況」より）



➡自画撮り被害に遭った児童・生徒数が増加

＊ 東京都教育庁「児童・生徒のインターネット利用状況調査」の結果から作成
（区市町村立小・中学校、都立高等学校・特別支援学校からの抽出調査）

インターネットやＳＮＳ利用に関する課題に対応するため、「ＳＮＳ東京ルール」を改訂することが必要

5　「ＳＮＳ東京ルール」の改訂

改訂の方向性

- (1)利用時間等の自律的な管理
- (2)情報を発信するアプリの適切な使用
- (3)自画撮り画像等による被害の防止

改訂版「ＳＮＳ東京ルール」（平成 31 年４月 25 日改訂）	
①　スマホやゲームの一日の合計利用時間、使わない時間帯・場所を決めよう。	ネットへの依存につながる長時間の利用を防ぐ。
②　必ずフィルタリングを付け、パスワードを設定しよう。	ネット利用のための基本的なルールを徹底する。
③　送信前には、誰が見るか、見た人がどのような気持ちになるか考えて読み返そう。	ネットを通して、他の人をいじめたり傷付けたりしない。
④　個人情報を教えたり、知らない人と会ったり、自画撮り画像を送ったりしない。	ネット犯罪に巻き込まれないよう、安易な発信をしない。
⑤　写真・動画を許可なく撮影・掲載したり、拡散させたりしない。	ネットに公開した情報は削除できないという危険性を理解する。

「ＳＮＳ東京ルール」（平成 27 年 11 月策定）

- ①　一日の利用時間と終了時刻を決めて使おう。
- ②　自宅でスマホを使わない日をつくろう。
- ③　必ずフィルタリングを付けて利用しよう。
- ④　自分や他者の個人情報を載せないようにしよう。
- ⑤　送信前には、相手の気持ちを考えて読み返そう。

6　今後の取組

■ 都教育委員会の取組

① **Twitter 等による改訂後のルールの周知**（５月）

② **改訂後のルールに基づいた「SNS 東京ノート」の改訂**（今年度中）

③ **「親子情報モラル教室」（小学校約 150 校）等による家庭への啓発**（７月から２月まで）

④ **研修等を通じた教員の指導力の向上**（４月・２月）

⑤ **「情報モラル推進校」による先進的な指導法の開発**（今年度中）

⑥ **LINE 株式会社との共同研究**（通年）

■ 学校の取組

① **改訂後のルールに基づく「学校ルール」の改訂**（今年度中）

② **改訂後のルールに基づく「家庭ルール」の改訂に向けた啓発**（今年度中）